

胎内堀工事続報 その2

市が予定している新堀用水（胎内堀）保全事業について、水を止めないで工事できないかという声が、工事に賛成の人からも反対の人からも上がり、「胎内堀保全工事に当たり市内用水路への流水の維持を求める」請願が市議会に提出され、全会一致で可決されました。

用水路の流水の維持を求める請願が可決

市が予定している新堀用水（胎内堀）保全事業について、工事の際に水を止めないでほしいという声が、事業に賛成する人からも反対する人からも聞こえてきました。そこで、「用水路の水を止めないよう求める会」が発足、5月22日、小平市議会に「胎内堀保全工事に当たり市内用水路への流水の維持を求める」請願を提出しました。

提出までの準備期間は短かったものの、市議会全会派に請願や代替案等の資料について説明してまわり、請願提出後に全会派の賛同を得られました。議長提案を受けて、建設委員会への付託が省略されることとなり、6月5日（火）の6月市議会初日、請願は全会一致で可決されました。短期間でしたが、281筆の署名が集まりました。

委員会での審査の機会が失われ、充分議論が尽くされないことは残念ですが、全議員が賛成した請願として、この請願の可決が具体的な中身を伴うものになるよう、会では見守り、働きかけを続けていくとしています。また、用水路の生態系を調べるいきもの調査や胎内堀の見学会なども企画しています。

用水路の水を止めないよう求める会ブログ yosuiroikimono.wordpress.com